

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：OXIDEN(オキシデン)
会社名：株式会社 CLO2 Lab
住所：兵庫県西宮市松生町11-18-1F
担当部門：本部
電話番号：0798-56-9623
FAX番号：0798-56-9633
作成日：2019年12月18日

2. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別：混合物
化学名：亜塩素酸ナトリウム (NaClO₂)・食添酸性塩・吸水崩壊剤
成分及び含有量：亜塩素酸ナトリウム7%、食添酸性塩25%、吸水崩壊剤等55%
塩分13% 成分名等は企業秘密のため一部非公開

亜塩素酸ナトリウム25%以下品 情報

化学式又は構造式：NaClO₂
官報公示整理番号：(1)-238 (化審法・安衛法)
CAS No：7758-19-2
労働安全衛生法：非該当
消防法：非該当
毒物劇物取締法：非該当
化審法：一般化学物質
大気汚染防止法：非該当
PRT法：非該当

3. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	引火性：区分外 自然発火性：区分外 自己発熱性化学品：区分外 酸化性：区分2 金属腐食性物質：分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）：区分4 急性毒性（経皮・ミスト吸入）：区分3 急性毒性（吸入：蒸気）：分類できない 皮膚腐食性・刺激性：区分2 眼刺激性：区分2 呼吸器感作性・吸引性呼吸器有害性・皮膚感作性：分類できない 発がん性・生殖毒性：区分外
環境に対する有害性	水性環境急性慢性有害性：区分1 オゾン層への有害性：分類できない

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師に連絡する。
皮膚に付着した場合：直ちに大量の水で洗う。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。目の刺激が続く場合は医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合：口をすすぎ、無理に吐かない。気分が悪い時は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置（周辺火災時）

消火剤：大量の水
錠剤自体は不燃性であるが、可燃性物質の燃焼を促進することがある。周辺火災の場合、冷却し、安全な場所へ移す。

6. 漏出時の措置

人体や衣服を損傷する可能性があるため、触れないように注意しながら大量の水で十分に洗い流す。洗い流すことができない場合は、還元剤のチオ硫酸ナトリウムにて分解する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：小児の手のとどかない所に保管する。
用途以外に使わない。
防水手袋・保護メガネ・保護マスクを着用して作業する。

10L以下の水槽に入れない。
袋から取り出した錠剤を放置しない。袋から取り出したら直ぐに水槽に投入する。
水槽に投入するまでに錠剤に水がかからないよう十分注意する。
水槽に投入後の放出ガスを吸い込まない。
密閉状態の空間内で使用しない。十分な換気を行う。
金属を腐食させる可能性があるため、その側での使用および放置はしない。
漂白作用があるため、色物の繊維等の側での使用および放置はしない。
内容物がこぼれた場合は乾いた紙等ですぐにすくい取り、防水性の密閉袋に入れ、水と接触させないように注意し、廃棄する。

保 管：高温・高湿度の場所での保管を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度：

日本産業衛生学会：設定されていない

ACGIH：設定されていない

保護具

呼吸器の保護具：ハロゲンガス用防毒マスク

手の保護具：不浸透性保護手袋

眼の保護具：保護眼鏡（ゴーグル型）、顔面シールド

皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣、長靴、前掛け

9. 物理的及び化学的性質

外観等：白色の錠剤

融点・凝固点：180～200℃で分解する。

引火点：不燃性

爆発限界：なし

水への溶解度：436 g/L（25℃）

自然発火温度：不燃性

10. 安定性及び反応性（二酸化塩素ガスの参考値）

安定性：常温常圧で安定

危険有害反応可能性：水に溶解すると反応して二酸化塩素を発生する。二酸化塩素の濃度が密閉系で高濃度（150vol%以上）になると分解爆発する危険がある。

避けるべき条件：加熱、衝撃、摩擦、可燃物、着火原、混触危険物質との接触

可燃性：なし。

発火性：自然発火性なし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：ラットLD₅₀>300mg/kg 区分4

急性毒性（経皮）：ウサギLD₅₀・ATE>1000mg/kg 区分3

ミスト吸入毒性：ラットLD₅₀>0.5mg/kg 区分3

皮膚刺激性：ウサギ弱刺激性 区分2

眼刺激性：刺激性あり 区分2

生殖細胞変異原性：経口で陰性 区分2

発がん性：区分外

生殖毒性：区分外

10%の数値がないため、上記数値はより毒性の強い25%を適用した。

12. 廃棄上の注意

廃棄処分するときは、内容物を除去した後に行う。

13. 環境影響情報

生態毒性

甲殻類(オオミジンコ)EC₅₀(48h)0.0146ppm

加算式でEC₅₀(48h)=0.1mg/lとなり、区分1とした。

慢性毒性は、水中の挙動または生物蓄積性が不明なため区分1とした。

二酸化塩素水は数ppm以下の微量であれば、水質浄化作用として有効であるが、高濃度では、魚類、植物を侵す恐れがある。

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

14. 輸送上の注意

運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国際規制

国連番号	1908
品名	亜塩素酸塩溶液
国連分類	クラス8
IMDG	8

国内規制

特別の安全対策 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のない事を確認する。転倒、落下、破損のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。
火気注意、衝撃注意、可燃物接触注意の表示をする。

応急措置指針番号 154

15. 適用法令

消防法	非該当
毒物劇物取締法	非該当
化審法	一般化学物質
労働安全法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	海洋汚染物質（法第38条4、則第30条の2の3、平成4年運輸省告示323号）
船舶安全法	腐食性物質（危則大3条危険物告示別表第1）
航空法	腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
道路法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

(PRTR)

16. その他の情報

参考文献：

改定第3版化学品法令集 化学工業日報社（2001）
化学物質安全性データブック改定増補版 化学物質安全情報研究会編（1997）
改訂版労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社（2003）
薬事法・薬剤師法・毒物及び劇物取締法解説第14版 薬事日報社（2004）

記載内容の取扱い	記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
----------	--